



みんなのチカラ

2024年3月1日 vol.4

■発行：四日市市立羽津北小学校コミュニティスクール「けやき委員会」

はじめに

コミュニティスクール「けやき委員会」ってなに？

日頃は、羽津北小学校の教育活動に対しご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、羽津北小学校コミュニティスクール「けやき委員会」ですが、学校・保護者・地域が、互いに連携し合い、学校の教育目標である、『自ら学び、共に生きる子どもの育成』の実現を図ることを目的に、教育委員会より委嘱を受けて活動しています。

コミュニティスクールは、四日市市内の全校に順次設置されており、羽津北小学校では「けやき委員会」という名称で、2020年度から活動しています。

まだまだ4年目！



「隠れたチカラ」が必要なワケ

この羽津北小学校コミュニティスクール「けやき委員会」では、さまざまなボランティアの方を募集しております。

例えば、学習支援ボランティアでは、調理実習やミシン、英語などの趣味や特技だけでなく仕事のスキルを活かして、地域の皆さんが「先生」となり、子どもたちをサポートしていただける方を真剣に探しています。

コミュニティスクールでは、子どもたちを地域で見守り、育てていくため、

ただ今、皆さんにどんどん学校に来てもらい、学校のことを少しでも多くの方に知ってもらえるよう情報発信をさせてもらっているところです。



今後は、先生が、子どもたちと向き合う時間を少しでも多く取ることができるよう、地域の皆さんと一緒に、楽しみながらお手伝いを続けていければと思っております。

ご自身の趣味や特技、仕事のスキルが、「もしかしたら子どもや学校のために役に立つかも」と少しでも思われた方は、お近くのコミュニティスクールの委員や学校までお声がけください。「隠れたチカラ」を心待ちにしております！



どうする「働き方改革」～学校外編～



前回、この紙面では、羽津北小学校の「働き方改革」の現状について、なかなか聞くことができない先生の現場の生の声をお届けさせていただきました。

そして、今回は、その「働き方改革」をさらに進めるために、「**学校の外で起こったこと**」については、**保護者をはじめ地域の皆さんのチカラが必要**とのことで、一緒に考えていければと思います。

「学校の外で起こったこと」ってどんなこと？

●想像してください・・・

想像してください。

子どもが学校から帰ってこない・・・？

寄り道をしているの・・・？

まさか事故にあった・・・？

いろいろ不安なことが頭をよぎります。

そんな時、皆さんはどうされますか？

とりあえず学校に電話をされますか。

●学校には毎日いろいろな連絡が

学校には毎日いろいろな情報や相談が届きます。

遊びから帰る時間が遅い・・・

ゲームやスマホをずっとしている・・・

SNSで友だちとけんかとなった・・・

また地域の方からも

転んでケガをした子がいる・・・

コンビニで買い食いをしている・・・

子どもの遊ぶ声がうるさい・・・

さらには、

自転車の乗り方が悪い・・・

食えるときのマナーが悪い・・・

子どもが雨に濡れて帰ってきた

別の保護者とこじれて話ができない・・・

といった内容までさまざま。

●これって学校の責任？

ただ、これらはすべて学校が対応しなければならないことなのではないでしょうか？

羽津北小学校は、市内でもいち早く「働き方改革」を進め、**先生の心理的または物理的な面でのフォロー**について積極的に取り組んできました。

しかし、**保護者と学校との間では、役割や責任についてまだまだあいまいな部分があるのが現状です。**

●学校外のことも学校に頼りがち？

学校でも様々な指導は行いますが、その対応については**文部科学省が示す家庭または地域で行うべき内容**についても、「**とりあえず学校に連絡すれば何とかしてくれるのでは。**」という方がまだまだ多く見受けられるのが現状です。



先生の「声」は・・・

前回アンケート
(2023年2月実施)
の振り返り



アンケート結果はコチラ

<https://drive.google.com/file/d/1vmTTiVBy4hP1PFxzY4YBUg1qErnHbQE/view>



下からつづく

そのため、トラブルの対応についての認識にズレが生じている様子が見受けられます。

これは、学校と学校以外での生活ルールの境界線の認識があいまいとなり、本来、各家庭の価値観でルールを運用または指導すべき内容まで学校に頼りがちになっているように見受けられます。

●「働き方改革」ってなぜするの？



『働き方改革』は何のためにするの？」と尋ねられれば、

「先生が子どもたちとしっかり向き合う時間を確保するため。」というのがその答えです。

しかし、これは同時に、「先生が子どもたちのことを考えるための時間を確保すること。」でもあります。

今まであいまいだった学校外の業務や役割を整理し明確化することで、学校と保護者が認識を共有することは、先生も子どもたちも幸せになるための「働き方改革」をさらに進めるために大切なことのように思います。

●学校の責任と役割をはっきりと

認識が同じであれば、保護者と学校がよりスムーズに連携ができます。

そして、子どもたちに関するさまざまな問題を家庭で対応し、未然に防止することができれば、学校として本来やるべき大切な業務に集中する時間を確保することができます。

これは、学校の責任を保護者や地域の方に任せるというものではありません。

本来の「学校の役割と責任」をはっきりさせるということです。



●いじめは学校の責任でしっかりと

もちろん、いじめについては、学校内外関わらず学校として未然防止や素早い対応をしっかりと行っていきたいと思いますし、いじめ以外に学校外で起こったトラブルなどについては、基本的には家庭や地域で対応してもらいますが、「子どもたちの安全確保や友だちとの関わりのためにも今までのように情報共有をしてもらえると助かります。」とのことです。

また、登下校についても、子どもたちの安全指導などできる限りの対応は、引き続き行っていくとのことです。

●子どもと先生の笑顔のために

「目の前にいる子どもたちを『地域』で育てていく。」

そんな「学校の役割と責任」について一緒に考えてみませんか。



【参考】「教育基本法」における家庭の役割について

(家庭教育)

第十条 父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

2 国及び地方公共団体は、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。

(学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力)

第十三条 学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力に努めるものとする。



2023年度活動報告

- 6月3日(土)
奉仕作業(プールサイド及び周辺除草)
- 6月6日(火)
6年生プール清掃
- 2月2日(金)
6年生卒業記念品「竹あかり」制作



奉仕作業・プール清掃



竹あかり制作

***少しずつですがお手伝いをしていただけの方が増えています!ありがとうございます!**

2024年度活動予定『できたらうれしいこと』

- 竹あかり制作・額突山地域の学習
- 登下校・校外活動時の見守り
- プール清掃・環境整備
- 授業の補助・体験学習/職業体験
- 地域行事/活動を通じた交流



竹あかり制作



額突山市民緑地まつり



地域行事での交流

***子どもたちと先生の笑顔のために「働き方改革」を一緒に進めていきましょう!**

2023度「けやき委員会」メンバー

- 委員長：稲原 清 (元PTA会長)
 副委員長：宮本 正則 (元PTA会長)
 委員：西脇 良孝 (元連合自治会副会長) 千種留美子 (主任児童委員) 鈴木 弘子 (民生委員)
 野口 裕 (元羽津北小学校校長) 渡部智也子 (前PTA会長) 澤井 宏美 (PTA参与)
 大西 通 (羽津地区まちづくり推進協議会事務局長) 以上9名



『隠れたチカラ』募集中!(ボランティア・学校サポーターなど)

祖父母の皆さん!お孫さんと学校活動を楽しみませんか!

- 学習活動の補助
★家庭科の調理実習やミシンの補助 ★6年生竹あかり制作補助 など
- キャリア教育
★ワークショップ ★出前授業 ★職業体験 ★地域交流 など
- 校内美化・環境整備
★6年生プール清掃補助 ★校内外環境整備 ★簡単な大工作業 など
- 見守り
★登下校時の見守り ★遠足など校外活動の移動時の見守り など
- 学校サポーター募集
★空いている時間にお手伝いをしていただけの「学校サポーター」募集中!

たとえ1つでも実現できると助かります!

子どもたちが地域の皆さんから学べる環境づくりのお手伝いに「隠れたチカラ」を貸してください!



竹あかり制作



遠足見守り



萬古焼授業

学校HPはこちら

